

私たちの「まち」のこと、ちょっと話してみませんか？ 地域活動ワークショップを開催しました！



1月14日(水)、今池ガスビル「プラチナルーム」にてワークショップを開催しました。今回、総合ファシリテータとして、相山女学園大学情報社会学部 谷口 功 教授をお迎えして、学区・学生・企業の視点で「地域活動」について話し合いをしました。

(1) 学区の事例紹介・クロストーク



学区を代表して、宮根学区の飯田 啓康 様、中小企業家同友会を代表して、吉田 令 様にそれぞれ事例紹介を発表しました。その後、谷口 功 教授を交えて三者でクロストークを行いました。それぞれの視点で地域活動について語っていただきました。



(2) ワークPart1 〇〇学区はこんな地域・2036年の〇〇学区

テーマを「ミライのフツウ」として、グループワークを行いました。グループ内で学区・学生・企業の方々が地域情報の共有を行いました。その後、学区の未来について自由な発想で、「予算制限なし！10年後こうなったら最高」を合言葉にグループ内で考えを出しあいました。



(3) ワークPart2 〇〇学区で共創・今からto Do・見出しを創る



休憩をはさんだ後に、グループ内でPart1で出たアイデアを元に「大人の力」と「若者の力」を紐づけていきました。そして、その理想を実現する為に「今からto Do」を出しあいました。

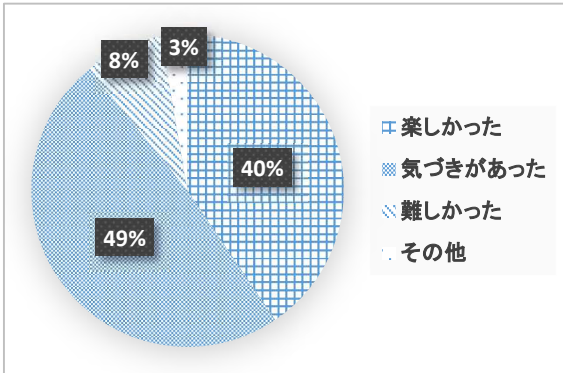
最後に、号外新聞として見出しをつけて全体発表を行いました。

アンケート集計結果



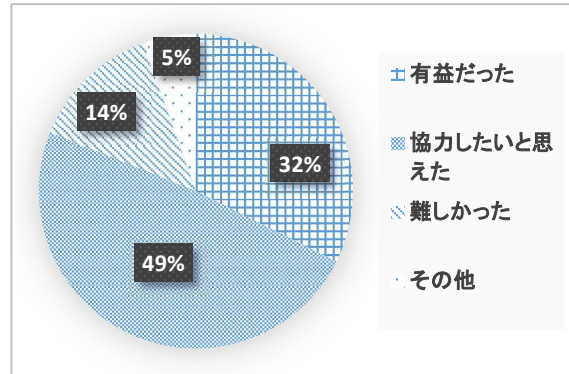
1. ワークPart1について

〇〇学区はこんな地域・2036年の〇〇学区
(N=37)

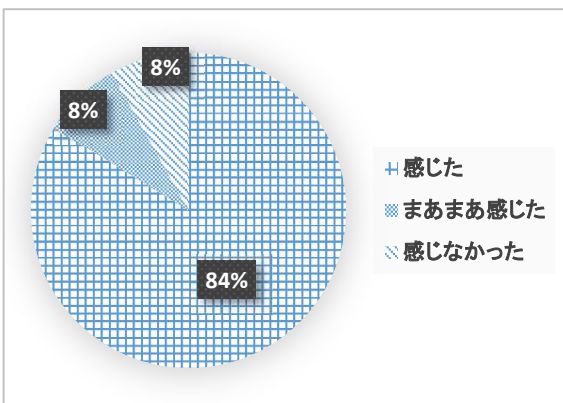


2. ワークPart2について

〇〇学区で共創・今からto Do・見出しを創る
(N=37)



3. 地域x学生x企業の協力の必要性を感じましたか (N=37)



ワークショップ参加者の声

- 初めてのワークショップだったけど楽しかった。
- こうなっていたいという妄想から実際にどうしたら何ができるか考えられて良かった。
- 定期的に行うと良いと思います。
- 印象に残った点：未来から「モノ・コト」を生み出す考え方。
- ⚠️ 新しい発想がなかった。



地域団体・学生・企業の協力により、地域活動の選択肢が広がることを確認できました。「ミライのフツウ」を実現するために、「共創」・「今からto DO」を合言葉に、より強い三者間の結びつきが期待されます。



※ 本事業は、令和7年度「区別コミュニティ交流会」「地域活動人材ネットワーク構築事業」として開催しました。